



令和5年10月18日

一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会

再注目のJLPA「保守検査時の不具合収集」調査活動

昨年の記者会見から、LPガス業界内で反響広がる。

他の協会でも保安講演会、機関誌寄稿依頼と引く手あまた。

調査内容を、『自社保安に活かしたい』という声、多数。

今年も、のべ3,500超の調査データ元に、機関誌で最新情報発信

一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会（東京都港区、会長：舟木 隆、以下 JLPA）は、今年度も10月20日に発行される機関誌『LPガスプラント・秋季号』で、全国の協会会員社の協力による2022年度検査時「保守検査時の不具合収集」調査結果と不具合カラー写真事例を掲載し、自主保安と検査、日常点検の重要性を訴える情報発信を行います。

【昨年来、なぜ不具合発生事例が注目されるようになったか。】

それは、不具合事例の公表が「傾向と予測」を可能とする情報価値があると言う事、“予防保全”の重要性を改めて示した事で、その大切さや不具合の予測される箇所の把握が写真やグラフで分かり易く呈示できた事だろうと考えます。

昨年10月に、16年に及ぶ有用な調査活動を行ってきたにもかかわらず、社会的な認知を進め切れていない反省から、改めてマスコミ各位に不具合収集活動を『記者会見』（於：JLPA会議室）という形で公表したことで、当協会の行ってきた“不具合収集活動”の注目度は拡大。今年9月には「日本LPガス協会」の東京・大阪で行われた第50回記念「LPガス保安に関する講演会」の講演依頼や、「高圧ガス保安協会」機関誌『高圧ガス』9月号への寄稿依頼など、不具合収集データを、社会の自主保安活動に活かすことの理解が、改めて業界内で広がったと考えられます。

【今年度の掲載・不具合事例検査結果数】

昨年度に比して、今年度の大きな特徴は、昨年度から調査収集を開始した「LPガスタンクローリ容器精密検査（再検査）」時の不具合集計結果を加えて、記事の更なる充実を図っていることです。

さらに、今年の調査数は

①LPG定置式プラント貯槽精密検査（開放検査）結果	264	基
②LPG定置式プラント普通検査	2,087	施設
③充てん設備・移動式製造設備保守検査	937	基
④LPガス タンクローリ精密検査（容器再検査）結果	387	基

と、のべ3,500を超える高圧ガス施設の不具合事例調査のデータ収集を行い、その傾向と

分析を行っています。

また、不具合写真と、その附帯情報を掲載した「不具合写真事例」パートでは、16事例、23点の具体的な写真を紹介し、配管やベーパライザ熱交換器はじめ、今年から掲載のタンクローリ容器の付属設備の不具合も掲載し、改めての注意を喚起する記事内容となっています。ぜひ、本紙の内容にご注目頂き、また時期をずらしての掲載とはなりますが、ホームページでの公開閲覧で、全国のLPガス販売事業者の方々の、社内自主保安に役立てて頂きたいと考えております。

【改めて、JLPAのご紹介】

JLPAは昭和36年に、主にLPガス設備（プラント）に関する技術の発展と保安の徹底を目的に発足し、平成24年4月に一般社団法人認可後、今年協会発足62周年を迎え、会員数は全国110会員となっています。この会員のうち約7割が、高圧ガスプラント設備の「保守、保全」を担う検査事業会社です。

今回公表される調査データは、JLPA主導で、北は北海道、南は沖縄まで全国の検査事業者より年一回、日本全国規模で継続調査している“定期自主検査、保安検査前検査等”における各種検査項目ごとの不具合発生状況を「データ」と「写真」で分かりやすく集約したものです。

【広範な保安支援・業界の意見を社会へ発信し貢献する JLPA】

JLPAは、今回発表の「保守検査時の不具合収集」の調査にとどまらず、「JLPA基準・指針」の制定・改編事業、各種高圧ガス保安に役立つ講習会・セミナー開催等の保安啓発事業、認定検査事業者の検査員教育や非破壊試験技術者の資格取得のための実技講習等の教育事業も行っています。

中でも、近年重要性をあげているのが、「経済産業省」や「国土交通省」をはじめとした「中央官庁」からの“意見聴取”や、法令や規制準備段階の“調査事業への委員派遣”があります。規制の緩和やデジタル技術の利用促進等の法案整備や公聴的な側面から、業界としての意見、法令遵守や技術的な課題予測を交えて意見を述べる重要な役割です。当協会の自主保安促進活動のみならず、高圧ガス利用におけるエンジニアリング面の保安知見が近年とみに求められているのです。

この調査活動始め、安全で、安心な高圧ガス設備の利用と、保安確保に向けてJLPA会員のアドバンテージは、ますます高まっています。

是非、JLPA事業活動へのご支援ご注目を宜しく願いたいと思います。

<p>《本件に関するお問合せは》 一般社団法人 日本エルピーガスプラント協会 菊地 電話 03-5777-6167</p>
